橋梁台帳

近畿	兵庫国道	神戸維持
名　称　：業平橋 所在地（自）：芦屋市業平町 （至）：芦屋市前田町	路線名　：0002　現道 距離標（自）：19.8　62 （至）：19.8　95	整理番号１　：00060 調製年月日　：20150227 改訂年月日　：#

【基本諸元】

橋梁区分　：本線橋
橋梁種別　：橋
上部工分離・橋脚
一体構造の別：？
分割区分　：上下線一体
事業区分　：一般道路
路線名（俗称）：一般国道２号

［交通規制］
通行制限　：通行制限　無し
荷重制限　：　＊t
制限　高さ：　＊m
幅　：　＊m
迂回路の有無：#

交通現況　：#

［他域橋長］
起終点区分　：＊
他域橋長　：　＊m

［橋梁接続］
起点側
市区町村　：＊
橋梁種別　：＊
事務所ｺｰﾄﾞ　：＊
出張所ｺｰﾄﾞ　：＊
橋梁ｺｰﾄﾞ　：＊
分割番号　：＊
終点側
市区町村　：＊
橋梁種別　：＊
事務所ｺｰﾄﾞ　：＊
出張所ｺｰﾄﾞ　：＊
橋梁ｺｰﾄﾞ　：＊
分割番号　：＊

橋長　：　33.35 m
総径間数　：　5
橋面積　：　903.8 ㎡
平面形状　：直橋（直角橋）
最小半径　：　＊m
縦断勾配　：　0.030 %

［舗装］　種別：アスファルト系
面積：　# ㎡
厚さ　上層：　# cm
下層：　# cm

［照明］　有無：#

歩道添架の有無：無し
点検施設　：点検施設無し
排水施設　：たれ流し型式
遮音壁の有無　：無し
遮光壁の有無　：無し
踏掛版の有無　：無し
凍結防止剤の
散布回数：#

［消雪パイプ］
有無　：#

［ロードヒーティング］
有無　：#

［床版防水工］
種別　：？
範囲　：#
面積　：　# ㎡

塩害地域区分　：D
塩害地域距離　：　＊km

［落下物防止柵］
高さ　：　＊m
延長　：　＊m

架設竣工年　：1925
橋の等級　：１等橋
適用示方書　：大正１５年
設計活荷重　：？
水平震度　：ｋｈ＝？

［特殊荷重］
１：？
２：？
３：#
４：#
５：#
６：#

［基本耐荷力］
主桁、主構、ﾄﾗｽ橋
載荷弦：　＊t
その他：　＊t
床及び床組
床版　：　＊t
縦桁・横桁：　＊t

工費　上部工：　# 百万円
下部工：　# 百万円

備考　：

橋梁台帳

近畿　　兵庫国道　　神戸維持

名　称　　：業平橋 所在地（自）：芦屋市業平町 （至）：芦屋市前田町	路線名　　：0002　　現道 距離標　（自）：　　19.8　62 （至）：　　19.8　95	整理番号１　：00060 調製年月日　：20150227 改訂年月日　：#

【上部工諸元】

構造体番号	径間番号	支間長(m)	材料区分	桁形式区分	路面位置	構造形式	床版種類使用形式	床版厚(cm)	本体塗装面積(m²)	高欄塗装面積(m²)
001	1 0	6.670	ＲＣ橋	単純桁	上路橋	ＲＣ　Ｔ桁	一体型（場所打主桁＋場所打床版）	19.0	*	*
002	2 0	6.670	ＲＣ橋	単純桁	上路橋	ＲＣ　Ｔ桁	一体型（場所打主桁＋場所打床版）	19.0	*	*
003	3 0	6.670	ＲＣ橋	単純桁	上路橋	ＲＣ　Ｔ桁	一体型（場所打主桁＋場所打床版）	19.0	*	*
004	4 0	6.670	ＲＣ橋	単純桁	上路橋	ＲＣ　Ｔ桁	一体型（場所打主桁＋場所打床版）	19.0	*	*
005	5 0	6.670	ＲＣ橋	単純桁	上路橋	ＲＣ　Ｔ桁	一体型（場所打主桁＋場所打床版）	19.0	*	*

橋梁台帳

近畿　　兵庫国道　　神戸維持

名　称　　：業平橋	路線名　　：0002　　現道			整理番号１　：00060	
所在地（自）：芦屋市業平町	距離標　（自）：	19.8	62	調製年月日　：20150227	
（至）：芦屋市前田町	（至）：	19.8	95	改訂年月日　：#	

【下部工諸元】

躯体番号	構造形式	基礎形式	杭径(m)	杭本数	本体塗装面積(m²)	備　考
A1	重力式橋台	?	?	?	*	
A2	重力式橋台	?	?	?	*	
P1	壁式橋脚（ＲＣ）	?	?	?	*	
P2	壁式橋脚（ＲＣ）	?	?	?	*	
P3	壁式橋脚（ＲＣ）	?	?	?	*	
P4	壁式橋脚（ＲＣ）	?	?	?	*	

橋梁台帳

近畿　　兵庫国道　　神戸維持

名　称	：業平橋	路線名	：0002　　現道	整理番号１	：00060
所在地（自）	：芦屋市業平町	距離標　（自）	：　19.8　62	調製年月日	：20150227
（至）	：芦屋市前田町	（至）	：　19.8　95	改訂年月日	：#

【幅員】

全幅員 m	有効幅員 m	左側 地覆幅m	左側 地覆高さm	左側 歩道幅m	左側 路肩幅m	左側 車道幅m	左側 車線数	中央帯 m	分離帯 m	右側 車線数	右側 車道幅m	右側 路肩幅m	右側 歩道幅m	右側 地覆高さm	右側 地覆幅m	供用開始年月日
28.0	27.1	0.45	0.11	4.10	0.42	8.81	2	*	*	2	8.90	0.42	4.45	0.11	0.45	?

【高欄・防護柵】

設置場所	高欄・防護柵の別	材質（材料）	形式	高さ（m）	防護柵設計種別	備考
歩道端（左）	高欄	鋼製	*	#	*	
歩車道境界（左）						
車道端（左）						
中央分離帯						
車道端（右）						
歩車道境界（右）						
歩道端（右）	高欄	鋼製	*	#	*	

【交差状況】

整理番号 2	架橋状況	交差物名称	協議有無	協議機関名	備考
0001	河川・開水路・湖沼	芦屋川	#	#	

橋梁台帳

近畿　　兵庫国道　　神戸維持

名　称　　：業平橋	路線名　　：0002　　現道			整理番号１　：00060	
所在地（自）：芦屋市業平町	距離標　（自）：　19.8　62			調製年月日　：20150227	
（至）：芦屋市前田町	（至）：　19.8　95			改訂年月日　：#	

【添架物諸元】

整理番号 2	添架物区分	種別	寸法（電話・電力 → XX条XX段）（上記以外 → φXXXX ）	占用物件本数	重量 (Kg/m)	管理者名	備　考
0001	占用添架物	電力	?	1	?	関西電力㈱	
0002	占用添架物	電力	?	1	?	関西電力㈱	
0003	占用添架物	上水道	169	1	?	芦屋市	
0004	占用添架物	上水道	169	1	?	芦屋市	

【塗装歴】

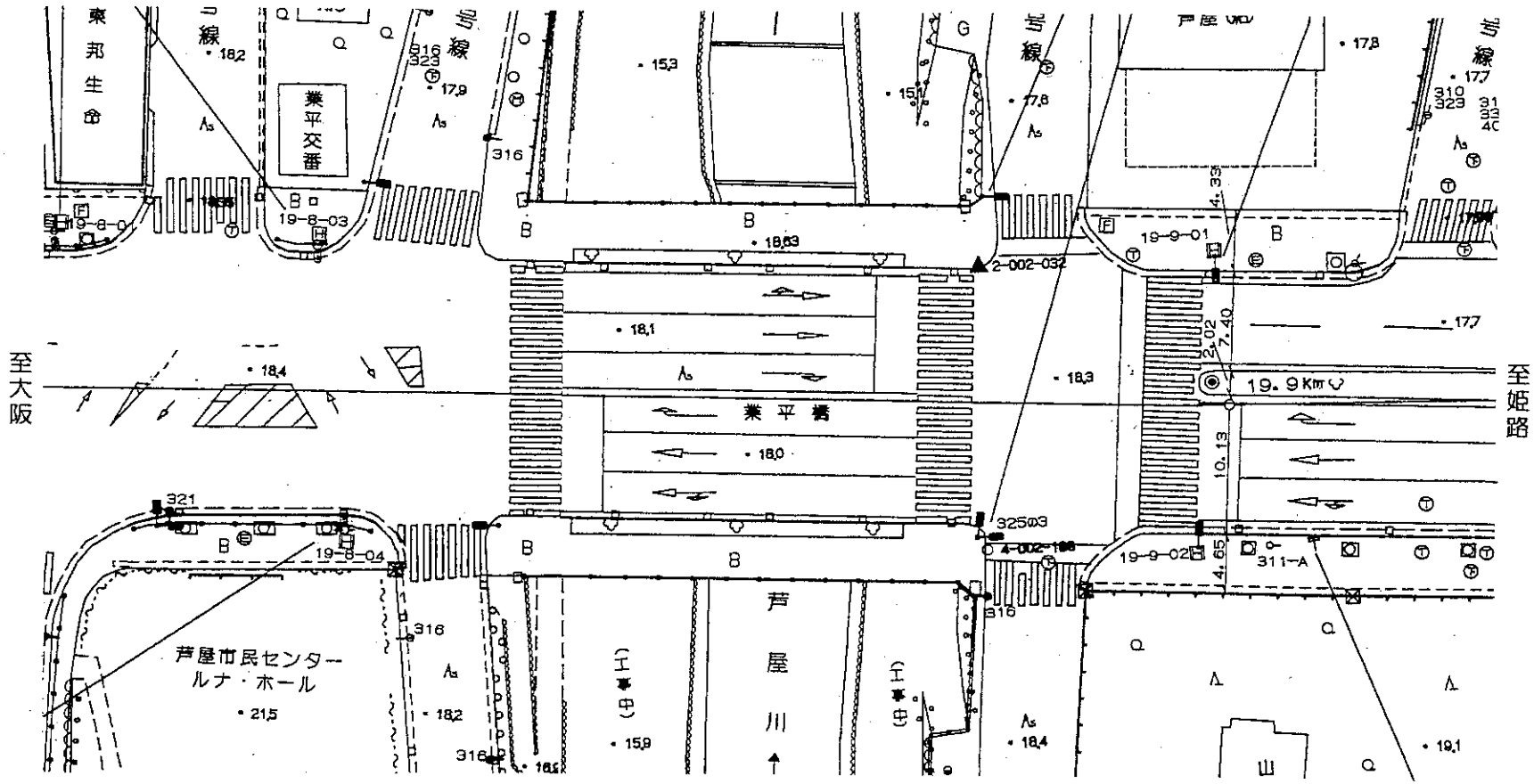
整理番号 2	上・下部工区分	径間又は躯体番号	塗装年月日	下塗塗料	中塗塗料	上塗塗料	本体塗装㎡	高欄塗装㎡	塗装色
0001	上部工	10	20090831	エポキシ樹脂下塗り塗料	フッソ樹脂用中塗り塗料	フッソ樹脂上塗り塗料	232.3	*	*
0002	上部工	20	20090831	エポキシ樹脂下塗り塗料	フッソ樹脂用中塗り塗料	フッソ樹脂上塗り塗料	232.3	*	*
0003	上部工	30	20090831	エポキシ樹脂下塗り塗料	フッソ樹脂用中塗り塗料	フッソ樹脂上塗り塗料	232.3	*	*
0004	上部工	40	20090831	エポキシ樹脂下塗り塗料	フッソ樹脂用中塗り塗料	フッソ樹脂上塗り塗料	232.3	*	*
0005	上部工	50	20090831	エポキシ樹脂下塗り塗料	フッソ樹脂用中塗り塗料	フッソ樹脂上塗り塗料	232.3	*	*
0006	上部工	10	20090831	エポキシ樹脂プライマー	エポキシ樹脂系Ｍ１０塗料	ポリウレタン樹脂上塗り塗料	835.8	*	*
0007	上部工	20	20090831	エポキシ樹脂プライマー	エポキシ樹脂系Ｍ１０塗料	ポリウレタン樹脂上塗り塗料	835.8	*	*
0008	上部工	30	20090831	エポキシ樹脂プライマー	エポキシ樹脂系Ｍ１０塗料	ポリウレタン樹脂上塗り塗料	835.8	*	*
0009	上部工	40	20090831	エポキシ樹脂プライマー	エポキシ樹脂系Ｍ１０塗料	ポリウレタン樹脂上塗り塗料	835.8	*	*
0010	上部工	50	20090831	エポキシ樹脂プライマー	エポキシ樹脂系Ｍ１０塗料	ポリウレタン樹脂上塗り塗料	835.8	*	*

橋梁台帳

近畿	兵庫国道	神戸維持
名　称　：業平橋 所在地（自）：芦屋市業平町 （至）：芦屋市前田町	路線名　：0002　現道 距離標（自）：　19.8　62 （至）：　19.8　95	整理番号１　：00060 調製年月日　：20150227 改訂年月日　：#

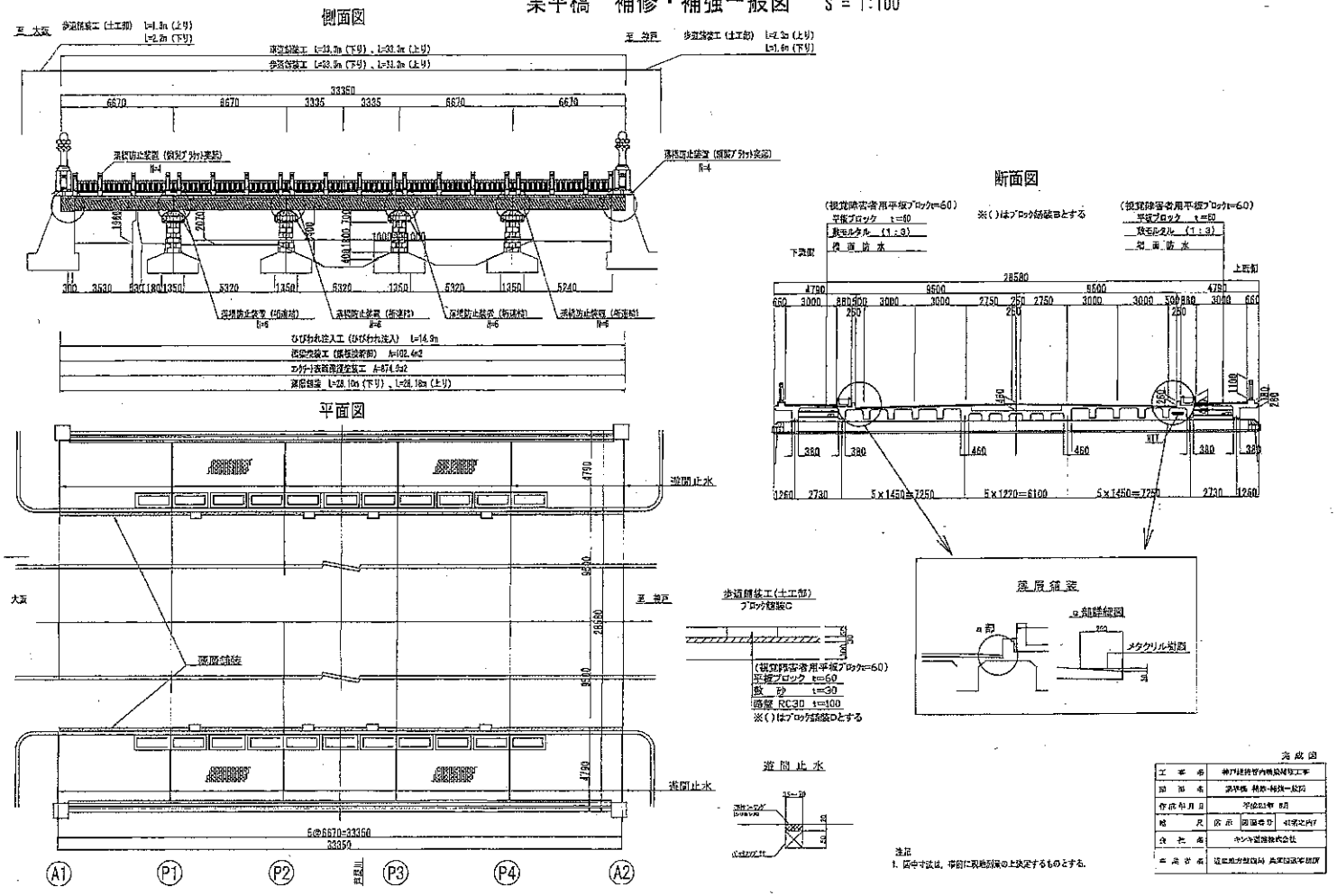
【補修歴】

整理番号2	上・下部工区分	径間又は躯体番号	補修年月日	主な補修・改良内容	備　考（原因等）
0001	上部工	10	20090831	落橋防止装置の設置	鋼製ﾌﾞﾗｹｯﾄ突起、神戸維持管内橋梁補修工事
0002	上部工	20	20090831	落橋防止装置の設置	桁連結、神戸維持管内橋梁補修工事
0003	上部工	30	20090831	落橋防止装置の設置	桁連結、神戸維持管内橋梁補修工事
0004	上部工	40	20090831	落橋防止装置の設置	桁連結、神戸維持管内橋梁補修工事
0005	上部工	50	20090831	落橋防止装置の設置	桁連結、神戸維持管内橋梁補修工事
0006	上部工	10	20090831	上部構造（その他）	断面修復、神戸維持管内橋梁補修工事
0007	上部工	20	20090831	上部構造（その他）	断面修復、神戸維持管内橋梁補修工事
0008	上部工	30	20090831	上部構造（その他）	断面修復、神戸維持管内橋梁補修工事
0009	上部工	40	20090831	上部構造（その他）	断面修復、神戸維持管内橋梁補修工事
0010	上部工	50	20090831	上部構造（その他）	断面修復、神戸維持管内橋梁補修工事
0011	上部工	10	20090831	上部構造（その他）	ひび割れ注入、神戸維持管内橋梁補修工事
0012	上部工	20	20090831	上部構造（その他）	ひび割れ注入、神戸維持管内橋梁補修工事
0013	上部工	30	20090831	上部構造（その他）	ひび割れ注入、神戸維持管内橋梁補修工事
0014	上部工	40	20090831	上部構造（その他）	ひび割れ注入、神戸維持管内橋梁補修工事
0015	上部工	50	20090831	上部構造（その他）	ひび割れ注入、神戸維持管内橋梁補修工事
0016	上部工	60	20090831	落橋防止装置の設置	鋼製ﾌﾞﾗｹｯﾄ突起、神戸維持管内橋梁補修工事
0017	上部工	10	20090831	舗装全体打ち替え	AS、神戸維持管内橋梁補修工事
0018	上部工	20	20090831	舗装全体打ち替え	AS、神戸維持管内橋梁補修工事
0019	上部工	30	20090831	舗装全体打ち替え	AS、神戸維持管内橋梁補修工事
0020	上部工	40	20090831	舗装全体打ち替え	AS、神戸維持管内橋梁補修工事
0021	上部工	50	20090831	舗装全体打ち替え	AS、神戸維持管内橋梁補修工事
0022	上部工	10	20090831	舗装全体打ち替え	ﾌﾞﾛｯｸ舗装、神戸維持管内橋梁補修工事
0023	上部工	20	20090831	舗装全体打ち替え	ﾌﾞﾛｯｸ舗装、神戸維持管内橋梁補修工事
0024	上部工	30	20090831	舗装全体打ち替え	ﾌﾞﾛｯｸ舗装、神戸維持管内橋梁補修工事
0025	上部工	40	20090831	舗装全体打ち替え	ﾌﾞﾛｯｸ舗装、神戸維持管内橋梁補修工事
0026	上部工	50	20090831	舗装全体打ち替え	ﾌﾞﾛｯｸ舗装、神戸維持管内橋梁補修工事


東邦生命
業平交番
19-8-03
19-8-04
19-9-01
19-9-02
2-002-032
業平橋
至大阪
至姫路
19.9Km
芦屋市民センター
ルナ・ホール
芦屋川
(中)
(中)
311-A

平成21年8月　神戸維持管内橋梁補修工事

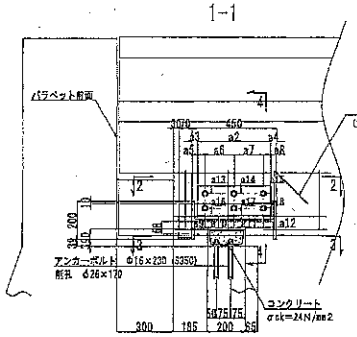
業平橋　補修・補強一般図　S = 1:100

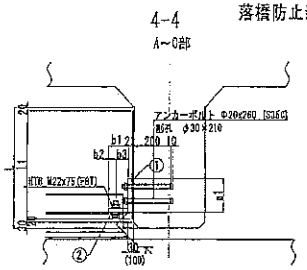


平成21年8月 神戸維持管内橋梁補修工事

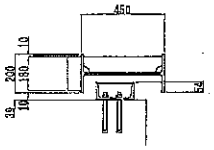
業平橋 構造図（その１） S = 1:10

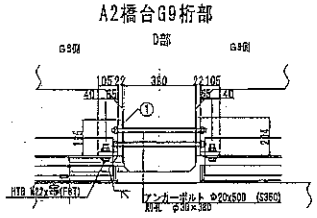
落橋防止装置工（鋼製ﾌﾞﾗｹｯﾄ突起）





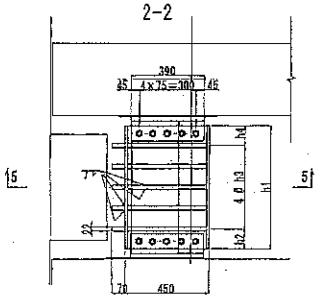
① 1-PL　a1 ×22×a2　(下流側)
1-PL　a1 ×22×a2　(上流側)
② 1-PL　b1 ×22×390　(下流側)
1-PL　b1 ×22×390　(上流側)
1-H　450×200×9×14×h1 (SS400)
6-RIb　86×22×422
5-RIb　70×22×180
12-アンカーボルト Φ20×260 (1種ナット，特付) (S35CN)
10-HTB M22×75(F8T)





G8～G9　上流側
① 1-PL　195×22×390
1-PL　105×22×390
10-HTB M22×75(F8T)

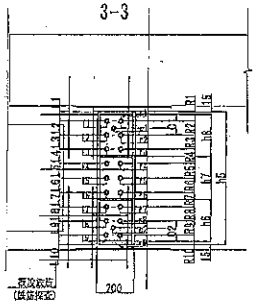
G9～G10　下流側
① 1-PL　204×22×405
1-PL　105×22×390
6-アンカーボルト Φ20×610(2-1種ナット，2-特付) (S35CN)
10-HTB M22×75(F8T)



橋台	桁番	a1		a2		a3		a4		a5		a6		a7		a8		a9		a10		a11		a12		a13	
		TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN
A1	G5～G6	178	177	290	288	30	30	30	30	40	45	155	150	155	155	40	40	40	45	155	150	155	155	40	40	40	49
	G7～G8	185	185	280	290	30	30	30	30	43	40	152	185	120	125	75	40	43	40	154	165	118	125	77	40	38	49
	G8～G10	195	190	380	395	30	30	30	25	40	40	155	153	165	167	40	45	40	40	156	165	165	169	40	40	40	49
	G11～G12	180	176	380	390	30	30	30	30	65	54	134	131	161	165	40	40	40	61	166	134	162	155	43	40	40	48
A2	G5～G7	195	227	410	390	30	30	10	30	71	40	124	155	175	92	40	103	71	45	124	150	150	145	55	50	40	38
	G8～G9	205	—	390	—	30	30	30	30	43	40	152	140	155	125	40	75	40	82	155	95	165	138	40	75	40	40
	G9～G10	—	190	—	390	30	30	15	30	84	43	128	152	153	157	40	38	85	45	135	150	95	155	91	40	40	40
	G11～G12	205	200	390	407	30	30	30	13	74	43	171	157	160	166	43	41	85	40	182	155	165	172	28	40	40	38

橋台	桁番	a14		a15		a16		a17		a18		b1		b2		b3		h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8
		TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN	TRN	LRN								
A1	G5～G6	40	40	40	40	63	75	53	76	65	75	219	244	40	40	178	204	764	105	223.5	105	155	242	241	242
	G7～G8	40	40	40	40	92	80	97	85	65	85	195	165	40	40	55	65	649	105	208.5	105	160	236	211	233
	G9～G10	42	40	45	40	90	90	90	88	90	90	105	105	40	40	55	65	624	105	108	105	160	285	162	223
	G11～G12	40	43	40	43	75	85	78	80	65	85	105	105	40	40	55	63	644	105	102.5	105	165	287	228	150
A2	G5～G7	40	38	40	40	95	120	97	120	95	120	229	114	40	40	189	74	774	105	141	105	635	269	161	345
	G8～G9	40	40	40	40	100	117	109	90	100	95	—	—	—	—	—	—	609	105	102.5	105	590	219	224	218
	G9～G10	42	40	44	40	98	93	95	95	116	95	106	105	40	40	65	65	624	105	106	105	685	226	305	114
	G11～G12	42	40	45	38	100	95	100	100	100	100	105	105	40	40	65	65	679	105	104.4	105	684	300	210	140

注）1．製作に当たっては現地寸法を測量すること。
2．H部材と【形鋼材最低550mmはラップするよう部材①を調整すること。
3．特記なき材質は全て SM400A とする。
4．鋼部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
付着量はJIS H8641 2種 HDZ55とする。但しボルト、ナット類は 2種 HDZ35とする。



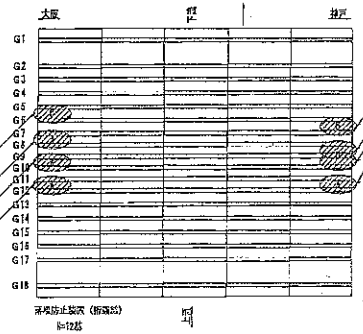
橋台	桁番	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	C1	C2
A1	G5～G6	140	91	70	60	51	107	79	82	89	46	59	59	63	82	76	75	97	73	88	54	165	170
	G7～G8	59	78	72	82	77	59	75	57	59	51	53	76	60	64	77	55	72	72	52	98	172	188
	G9～G10	48	81	78	69	67	73	84	52	71	40	52	74	80	66	81	88	89	48	65	57	99	221
	G11～G12	45	80	79	79	61	78	64	52	70	44	53	75	52	67	78	74	95	53	70	47	87	225
A2	G5～G7	58	84	88	58	124	83	96	86	57	65	52	98	64	66	114	92	89	88	91	59	102	109
	G8～G9	46	95	55	80	77	72	79	80	52	54	48	69	77	74	79	77	91	76	92	59	97	202
	G9～G10	45	118	55	52	57	53	106	73	76	48	48	111	64	52	51	54	110	69	77	68	185	84
	G11～G12	40	78	71	66	84	102	71	72	69	45	41	79	65	80	47	84	94	74	83	53	236	223

橋台	桁番	l1	l2	l3	l4	l5	l6	l7	l8	l9	r1	r2	r3	r4	r5	r6	r7	r8	r9	c1	c2
A1	G5～G6	47	49	44	48	46	42	47	43	50	39	58	58	60	45	65	60	58	68	125	125
	G7～G8	45	40	60	47	44	49	51	46	47	78	81	68	72	75	77	84	84	77	98	108
	G9～G10	33	49	48	50	48	50	50	50	43	72	65	72	53	80	75	75	74	79	107	136
	G11～G12	46	47	46	47	45	44	46	45	44	80	80	74	80	84	79	80	80	84	116	115
A2	G5～G7	78	79	73	67	90	80	86	78	85	59	55	63	52	90	60	62	60	67	97	92
	G8～G9	71	69	69	76	83	84	83	85	81	68	48	51	50	51	51	45	45	48	100	88
	G9～G10	60	63	68	63	68	72	73	73	81	68	68	66	60	95	57	54	47	48	101	84
	G11～G12	79	78	80	76	72	75	78	81	84	44	46	48	62	65	67	72	72	70	85	85

1-L　200×90×8×13.5×a2 (SS400)
4-PL 76×9×180
20-アンカーボルト M16×230 (S35C)

落橋防止装置（鋼製ﾌﾞﾗｹｯﾄ突起）
N=4基

配置図



完成図

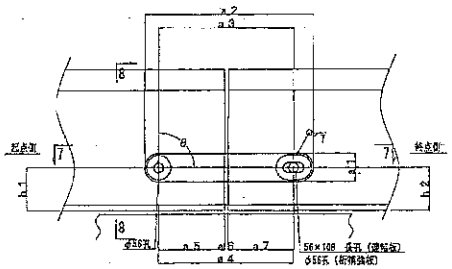
工事名	神戸維持管内橋梁補修工事
図面名	業平橋 構造図(その1)
平成21年8月	平成21年 8月
縮尺	図示 図面番号 4業平内8
会社名	ヤンバ技研株式会社
事務所名	近畿地方整備局 兵庫国道事務所

平成21年8月　神戸維持管内橋梁補修工事

業平橋　構造図（その２）S = 1:10

落橋防止装置工（桁連結）

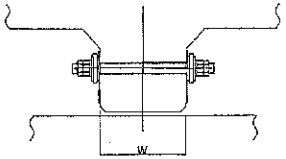
6-6



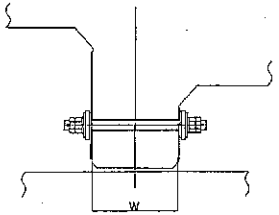
2-PL　a1×22×a2
4-PL　φ153×9
4-PL　188×133×9
2-アンカーボルト　φ55×L（SS400）
2-ナット　M52（2-1種ナット.2-3種ナット.2-W付）
4-割ピン　8×92（SUS304）

8-8

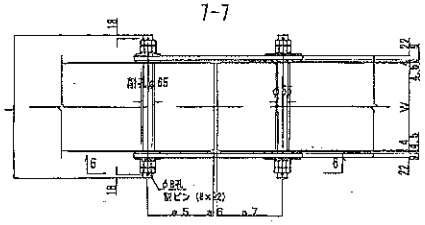
G8～G11



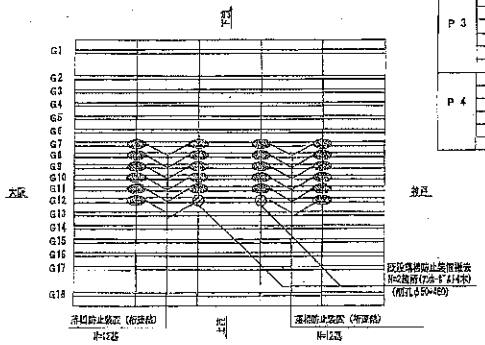
G7, G12



7-7



配置図



上流側

橋台	桁番	a1	a2	a3	a4	a5	a6	a7	h1	h2	W	L	θ
P1	G 7	170	1108	910	905	442	17	447	151	235	490	770	84° 42″
	G 8	170	991	763	764	363	11	360	245	130	450	760	78° 40″
	G 9	170	992	794	793	405	25	363	115	150	480	770	86° 45″
	G10	170	1014	816	804	359	11	434	260	120	460	760	88° 53″
	G11	170	1042	845	845	386	25	424	245	230	450	760	91° 01″
	G12	170	891	763	762	380	25	357	115	140	495	750	87° 45″
P2	G 7	170	1008	810	810	409	29	373	150	165	490	760	88° 56″
	G 8	170	1048	860	850	377	16	455	240	230	470	760	92° 40″
	G 9	153	866	795	795	398	40	357	230	230	465	760	90° 00″
	G10	170	1045	847	846	377	40	423	160	200	440	760	87° 18″
	G11	170	1092	894	848	443	22	413	135	230	495	760	82° 56″
	G12	153	854	773	773	382	14	355	230	230	500	760	90° 00″
P3	G 7	170	1072	874	872	432	12	408	230	172	490	760	93° 49″
	G 8	153	861	780	780	425	24	347	225	225	460	760	90° 00″
	G 9	153	1055	825	825	415	20	380	140	140	460	760	99° 00″
	G10	170	1014	817	815	394	16	405	200	145	455	760	93° 52″
	G11	170	1018	817	815	397	23	385	230	170	455	760	93° 52″
	G12	170	999	800	795	385	20	380	230	150	490	760	95° 45″
P4	G 7	153	1026	845	845	410	15	420	230	230	480	770	90° 00″
	G 8	153	986	806	805	405	15	385	230	230	465	760	90° 00″
	G 9	170	1045	847	847	385	15	447	240	230	470	760	88° 19″
	G10	170	1036	838	835	400	20	385	195	130	460	760	94° 27″
	G11	170	1038	840	837	406	11	420	230	135	450	760	95° 07″
	G12	170	1091	893	890	417	18	468	180	230	480	770	95° 30″

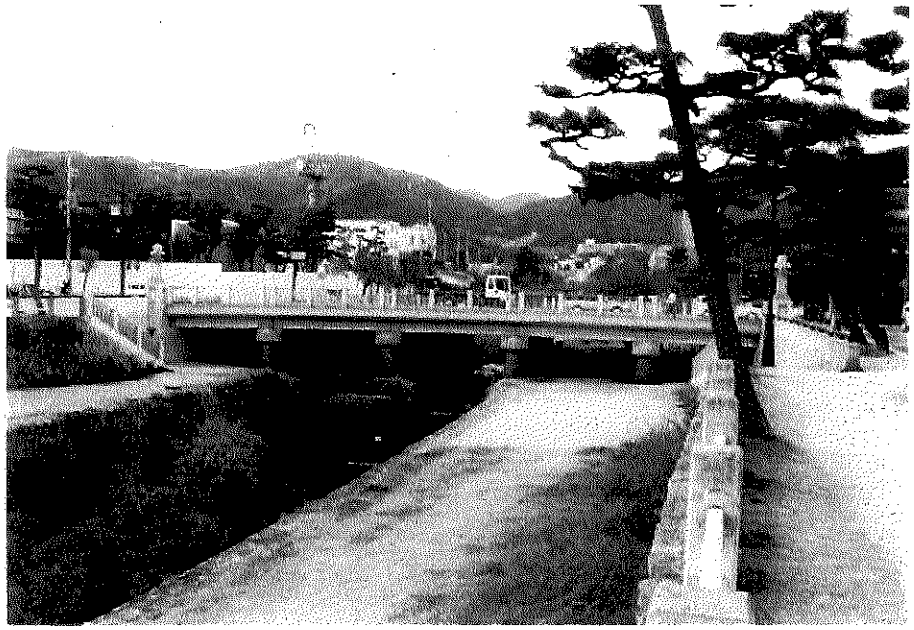
下流側

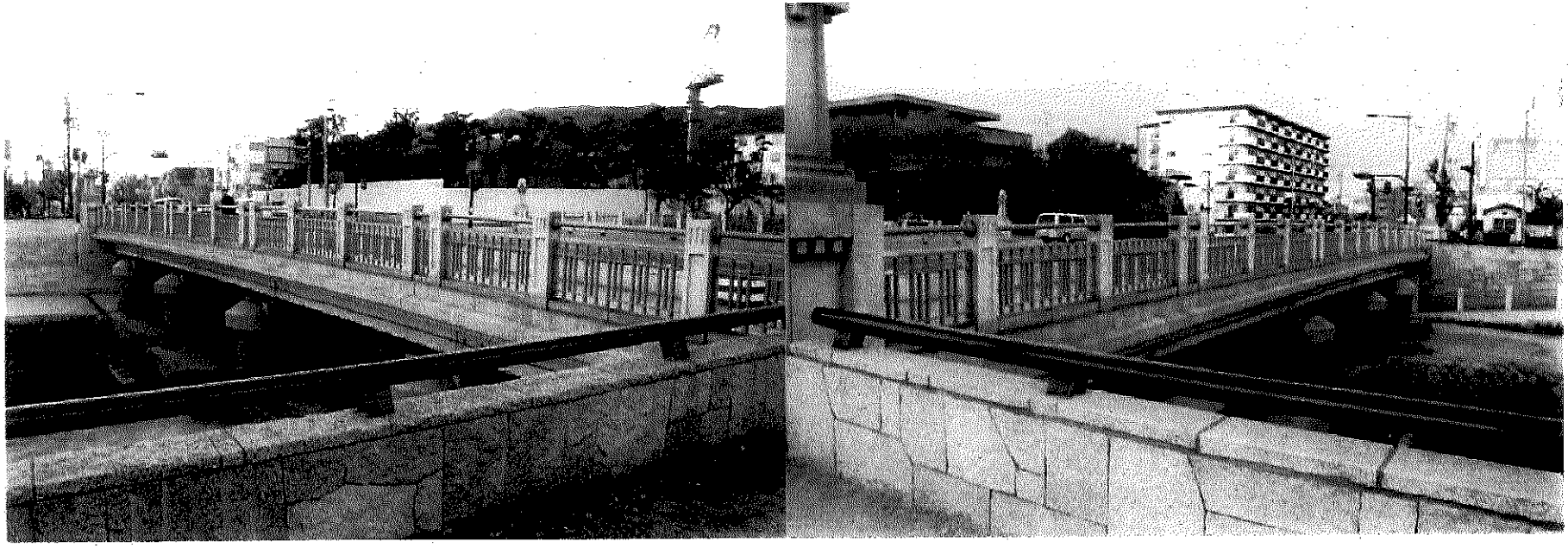
橋台	桁番	a1	a2	a3	a4	a5	a6	a7	h1	h2	W	L	θ
P1	G 7	170	1107	909	905	440	28	407	159	240			84° 19″
	G 8	170	983	785	778	370	25	383	240	135			87° 41″
	G 9	170	992	794	793	385	25	383	120	150			87° 50″
	G10	170	1025	827	815	376	13	428	150	120			93° 46″
	G11	153	1004	823	823	397	14	407	250	250			90° 03″
	G12	170	986	788	785	405	20	383	115	130			88° 33″
P2	G 7	170	1001	803	803	411	20	372	170	135			91° 04″
	G 8	170	1048	850	850	379	20	451	230	230			91° 21″
	G 9	153	854	773	773	393	27	353	240	240			90° 00″
	G10	170	1013	815	815	383	14	418	150	165			88° 15″
	G11	170	1036	839	832	415	23	394	125	230			82° 48″
	G12	170	698	760	760	369	16	375	250	230			91° 30″
P3	G 7	170	1043	845	843	406	25	413	230	172			93° 59″
	G 8	153	864	783	783	411	29	343	220	220			90° 00″
	G 9	170	1048	851	850	435	13	402	145	125			91° 21″
	G10	170	1004	808	803	402	28	381	200	130			94° 59″
	G11	170	983	785	782	390	12	380	230	160			85° 07″
	G12	170	982	784	780	393	25	362	230	155			85° 30″
P4	G 7	153	1016	835	835	380	15	430	230	230			90° 00″
	G 8	153	992	811	811	410	15	386	230	230			90° 00″
	G 9	170	1043	845	845	380	20	465	240	230			89° 19″
	G10	170	1001	803	800	400	15	385	195	130			94° 38″
	G11	170	1028	830	827	410	22	395	230	155			85° 11″
	G12	170	1076	877	875	410	20	445	160	225			85° 46″

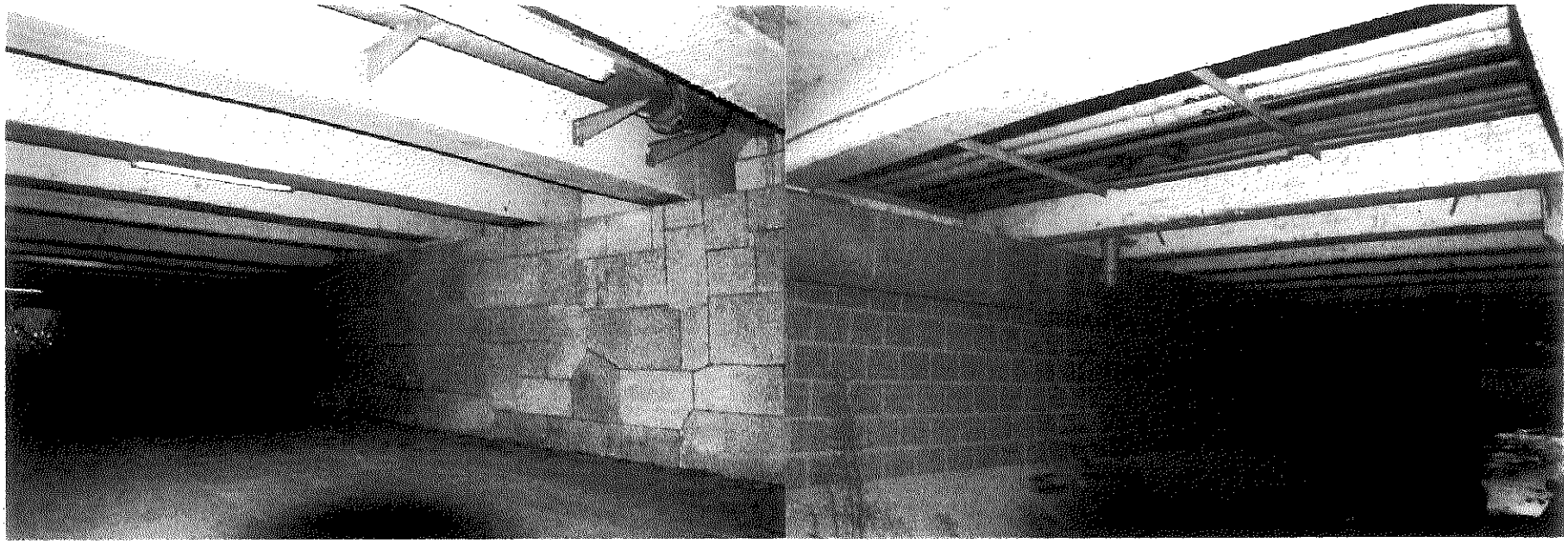
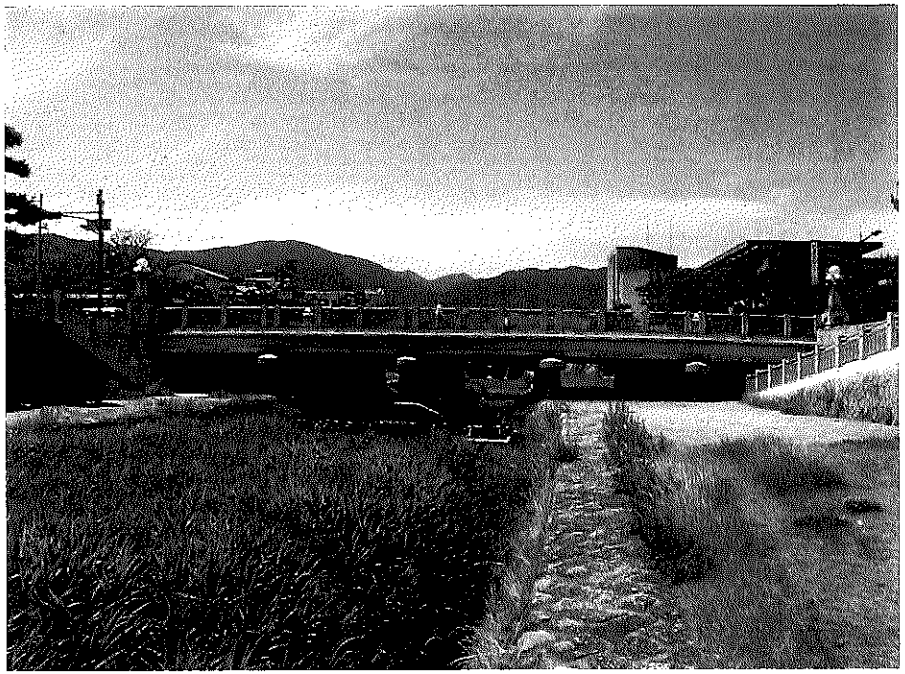
注）1. 製作に当たって現場寸法を測量すること。
　　2. 特記なき材質は全て SM400A とする。
　　3. 鋼材は全て塗装仕様メッキとする。
　　付帯金物は JIS H8641 2種 HDZ55とする。但し
　　ボルト、ナット類は 2種 HDZ35とする。

完成図

工事名	神戸維持管内橋梁補修工事
図面名	業平橋 構造図(その2)
作成年月日	平成21年 8月
縮尺	図番 別図参照	縮尺なし
会社名	ネットワーク技術株式会社
事務所名	兵庫県尼崎市 戸田西通中央町







平成21年8月 神戸維持管内橋梁補修工事